未来の新町橋通りへ！「アイデアの種」発掘ワークショップを開催しました

新町橋通り ウォーカブル
shinmachibashi Walkable
～居心地がよく、歩きたくなるまちへ～

令和8年10月22日(木)
18:30～20:30

シビックセンター
4階 さくらホール

第1回(全2回) ／ 参加者29名



各班が、風景や過ごし方から整理した「アイデアの種」を発表しました。

開催の目的

これまでの取組や意見を共有し、将来見たい風景や過ごし方を具体化。
全体コンセプトの検討につながる「アイデアの種」を整理しました。



新町橋通り周辺の住民、商店街や各種関係団体の方、学生さんなど、多くの参加者が、新町橋通りの将来像について意見を交わしました。

ワークショップの流れ

STEP 1
これまでを知る
通りの歴史や地域資源をはじめ過年度のウォーカブル社会実験の結果を共有。

STEP 2
将来の風景を描く
誰が・いつ・どこで・何をして過ごすかを付箋に書き、大判の計画地平面図に貼付。

STEP 3
アイデアの種をつくる
似た意見や個性的な意見を整理し、大切にしたい価値を「アイデアの種」として言語化。

「こんなふうに過ごしたい」から、新町橋通りで大切にしたいことを探りました。

各班の成果から見えてきた
新町橋通りで大切にしたいこと

詳しくは県HP

具体的な風景や過ごし方を横断し、
共通する意見や個性的な意見を整理しました。





将来像を広げる、特徴的なアイデア

・日常から阿波踊りの練習風景等に出会えるみち
・藍色をまちの象徴に（ベンチ・街灯・旗）
・歴史案内板・武将モニュメントの設置
・年齢別にエリアを分けた子どもの遊び場
・介護付き住宅など街なかに住む人を増やす
・まちを楽しめる案内所
・若者の活動空間を創出

日常的に立ち寄り、
自然や地域らしさを感じながら、
暮らし・商い・文化がつながる通りへの期待が、
班を越えて確認されました。



新町橋通りで大切にしたい価値

7つの共通価値
A–G

共通価値を3つのまとまりに整理

1 日常を支える

- **A 日常的に立ち寄り、過ごせる**
- **B 子どもから高齢者まで、暮らしを支える**
  休む、遊ぶ、歩く、集うなど、
  日々の過ごし方を受け止める場所

2 徳島らしい時間を育てる

- **C 自然・水辺・緑とともに過ごせる**
- **D 徳島・新町らしさを、日常から感じられる**
- **E 商い・食・活動が、まちへ広がる**
  新町川、眉山、阿波おどり、歴史、食、商いを
  日常の風景につなげる

3 まちと活動をつなぐ

- **F 日常と特別な日を、柔軟につなぐ**
- **G 駅・商店街・川・眉山をつなぐ**
  平常時と催事時、移動と滞在、
  周辺の地域資源をつなぐ

参加者が整理したアイデアの種の例

- 「広場のようなみち」
- 子どもの遊び場
- 水・緑・太陽の新町橋通り
- 誰もが自然とともに
  くつろげるヘルスケア空間
- 名物・らしさを感じる通り
- イベントに頼らずでも
  賑わいある空間
- 「ゾーンごとの魅力」

「アイデアの種」から、未来の新町橋通りへ、コンセプトをまとめていきます。